

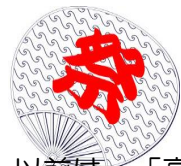
# 進学インフォメーション

## 学校説明会に行こう！スペシャル 「魅力ある高校との出会い・・・」 多くは、夏に訪れます。



「夏を制する者は受験を制する・・・」この言葉は、夏休みの学習の大切さについて訴えたものですが、実は、もう一つの意味があります。「夏休みに明確な目標を持った者は強い」という意味です。ここでの「明確な目標」とは、ズバリ、「志望校」のことです。つらい学習も、「あの人のことを考えれば、立ち向かってゆける・・・」（失礼・・・「あの人」ではなく「あの高校」でしたね・・・）と思えるくらい魅力ある高校との出会いが、何よりも学習の原動力になります。

さあ、この夏、そんな出会いを求めて、学校説明会に行きましょう！



### 高校側も夏に勝負をかけてくる

以前は、「高校が受験生を選ぶ時代」でしたが、少子化を迎えた今では、「生徒が高校を選ぶ時代」に逆転しています。魅力のない学校は、生徒が集まらず、統廃合の対象になってしまいます・・・。高校側からの受験生への広報活動が公立・私立を問わず活発になっているのは、こんな背景があります。

高校側は夏休みに盛んに学校説明会を行うようになりました。秋ではもう遅いのです。まるまる1日かけて、じっくり受験生に学校を見てもらえる夏休み。

ここで一人でも多くの受験生に参加してもらい、自分の学校をアピールすることが、各高校の願いです。



#### <学校説明会の形式いろいろ>

##### 【体験入学】

実際に高校の授業を受講したり、部活動に参加したりして、高校の雰囲気を味わいます。学食でランチをごちそうになれる学校もありますよ！

##### 【学校説明会】

体育館や講堂で学校の説明を行います。どうしても受け身になりがちなので、終了後は施設見学や個別相談会等に積極的に参加しましょう。

##### 【個別相談会】

高校の先生と1：1でお話ができる機会です。全体では聞きづらい、成績の相談や、入試の情報など、つっこんで聞くことができます。最近では文化祭などの公開行事の中に設定している学校が増えていますから要チェックです。

## 自分で情報を集め、自分の責任で受験する時代

最近の中学校での進路指導は、「進学指導」から「生き方の指導」に変わり、具体的な志望校の相談までは、なかなかやってもらえない状況です。みなさんは、ある程度自分の力で志望校の情報を集め、自身の学力を把握し、合格の可能性まで判断していく必要があります。学校説明会が流行しはじめたのは、このような時代の要請もあってのこと。学校説明会は、まさに情報収集のための絶好の機会なのです。

### 入試面接でよく聞かれる・・・

#### 「学校説明会に参加しましたか？」



受験の先輩に行った面接試験の実態調査によると、「本校を何で知りましたか？」とか「体験入学に参加しましたか？」などという質問例が最近増えています。体験入学に参加したことがない人はそこで「シマッタ！」と思ったそうです。参加したことのある人は、そのときの感想や、上級生の印象などで話がはずんだと言います。学校説明会への参加の有無が直接合否に影響することはありませんが、面接試験を有利に運ぶ上では、この差は大きいです。

#### <学校見学3つのチェックポイント>

##### ○在校生の姿

まず、在校生の姿が全く見られないような催しは要注意。「在校生の姿を見せたくない」現状が・・・在校生とふれあうシーンが多い学校は、比較的安心。授業までオープンにしている学校は、自信の現れです。

##### ○校舎・施設

新しい校舎や立派な施設に目がいきがちですが、その「中身」をチェック。清掃状況は？校舎の落書きや破損は？最も校風が表れるのは「トイレ」だともいいます。

##### ○先生方の姿

受験生対象行事の運営に多くの先生方が参加しているかをまずチェック。入試担当の先生だけで運営する学校より、全ての先生が一丸となって運営している高校の方が素敵です・・・先生方の熱意や接し方にも注目しましょう。

### 複数の学校を 比べよう

第一志望校の他にも、いくつかの高校を訪問し、比較することが大切です。学校見学に参加して、「志望順位が入れ替わった」という受験生の声をよく聞きます。ひとつの学校を見続けることも大切ですが、いろいろな高校を見ることによって、さらに今まで見続けていた学校への思いが増すこともあります。

学校説明会情報はこちらから→



# 学習インフォメーション

## データが実証

### 「夏の頑張りが明暗を分ける」



#### データ1 [受験勉強を本格的に始める時期と学力の伸びの関係]

本格的に受験勉強を開始した時期と、2月までの成績の伸び(過去の平均)

開始時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
偏差値の伸び※1	+6	+5	+5	+5	+3	+1	0
志望校変更率※2	10%	15%	17%	20%	40%	60%	70%
合格率※3	95%	95%	90%	90%	80%	75%	65%

※1：偏差値の伸び＝(受験期の偏差値)－(夏休み前の偏差値) ●●塾生徒平均

本格的に受験勉強を始める時期と、成績の伸びの関係を示しています。夏休み前に始めた人は平均で偏差値が5ポイント上がっています。本気でやれば、8～10くらい上げる人もいます。逆に9月からでは、がんばっても現状維持が精一杯です。

※2：志望校変更率＝夏休み時点での志望校からランクを下げて受験した人の割合

本格的に受験勉強を始めた時期と、当初の志望校を貫いた人の関係を示しています。夏休み前に開始した人は、当初の志望校を変更することなく、またはさらにワンランク上げて最終受験校を決定しています。9月からでは半数以上の人当初の志望校を断念しています。

※3：合格率＝志望校合格者の割合

本格的に受験勉強を始めた時期と、高校への合格率の関係を示しています。夏休みに開始した人の合格率は90%以上。9月以降ではぐんと下がります。

≪母数の多いデータを使用するためある大手塾●●の生徒データを使用≫

#### データ2 [受験を終えた生徒への聞き取り調査結果]

Q1. 受験勉強で後悔していることは・・・(重複解答可)  
 1位：「もっと早くから始めていれば良かった」・・・85%  
 2位：「夏休みをもっとうまく利用すればよかった」・・・70%  
 3位：「計画性がなかった」・・・50%

<後輩へのアドバイスより>

「夏休みは、1. 2年の復習をする最後のチャンスだと考えていい。2学期に入ると、新しい単元の質も量もぐっと増える。内申に最も影響を与える定期テスト対策にも追われて、なかなか思うように受験勉強がはかどらない・・・」

Q2. 夏休みの学習で重要なことは・・・

- 1位：「計画性」・・・65%
- 2位：「塾を上手に使う」・・・55%
- 3位：「気分転換」・・・20%



<後輩へのアドバイスより>

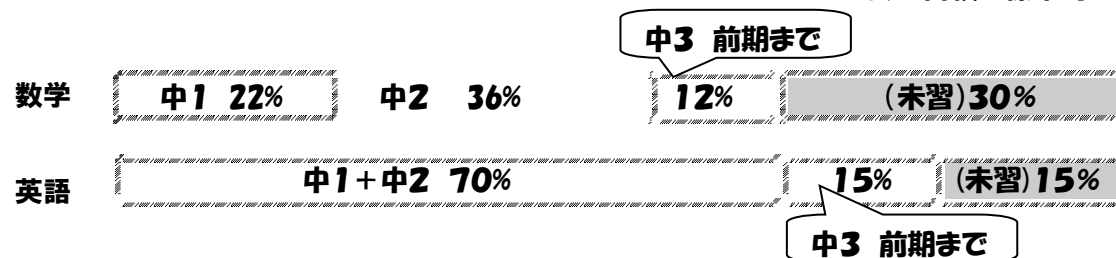
「夏の部活動引退後に、むなしさというか・・・何も手につかなくなる状態になったけれど、前もって講習をびっしり入れておいたので、イヤでもやらなければならぬ状態で・・・キツかったけれど、いま思うと、あれが良かったんだと思う」

<後輩へのアドバイスより>

「英単語や社会の用語など入試に近づけば近づくほど足りないと困る。もっと早くからやっておけばよかった。」

#### データ3 [入試での出題範囲]

公立高校の標準的なもの



数学で7割、英語で8割以上の問題が夏休み前までの範囲から出題されています。夏休みの受験対策は十分にできるはず。いいえ、必ずやらなくてはならないのです。

#### 「夏を制した人」の平均勉強時間は1日8時間

「夏休みを制する者は受験を制す」昔からいわれる言葉です。ここで、「夏を制する」条件とは、時間にして「1日8時間」が常識だといわれています。かなりハードのように聞こえますが、睡眠時間を8時間としても、いわゆる「自由時間」は8時間もとれるのです。

#### 「学習塾の時間は、学習時間に含めて教えてもいいのですか？」

もちろん宿題の時間も考えプラン作りをしていますから「OK」です。たとえば教室で4時間30分やれば、家庭では3時間30分がんばれば良いのです。8時間は長いけれど、気分転換のため環境をかえることで、楽にクリアーできるはずですよ。

